

第122期(平成30年3月期) 定時株主総会

平成30年6月26日
グンゼ株式会社

第122期定時株主総会

議 事 次 第 （開始時刻：午後1時）

<報告事項>

1. 第122期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の
第122期(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

<決議事項>

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | 取締役11名選任の件 |
| 第3号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |



■ 第122期定時株主総会

「報告事項」

事業報告

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

I. 事業の経過及びその成果

I-1. 第122期(平成29年度) 連結業績

連結業績

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第122期 (H29年度)	第121期 (H28年度)	対前期		利益率(%)	
			増減額	増減率 (%)	第122 (H29年度)	第121期 (H28年度)
売上高	1,405	1,365	39	2.9	—	—
営業利益	62	42	20	48.3	4.4	3.1
経常利益	64	46	17	38.0	4.6	3.4
親会社株主に 帰属する 当期純利益	34	31	3	12.4	2.5	2.3



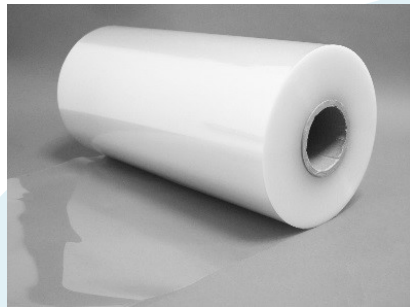
Ⅱ．事業セグメント別の概況

お手許の招集ご通知14頁から15頁をご参照

Ⅱ-1. <機能ソリューション事業>

売上高 : 508億円 (前期比 1.3%増)
営業利益 : 53億円 (前期比 55.2%増)

■ プラスチック



複合ナイロン新製品
HEPTAX-PF タイプ

■ エンジニアリング プラスチック



フッ素樹脂小口径
収縮チューブ

■ 電子部品



ウエットコーティング
システム

■ メディカル



中国深圳工場

Ⅱ-2. <機能ソリューション事業 1>

■ プラスチック

主力のシュリンクフィルムが国内・輸出とも順調に推移
 軟包装や工業用途も好調

◆ 製品群	概況
平板収縮	・ 国内はホット飲料、海外はトイレタリーのハイブリッド需要が旺盛
ナイロン	・ 冷凍・チルド下での耐ピンホール性向上タイプが様々な用途で増加
工業用品	・ 半導体用パッケージダイシング基材が好調
OPP	・ 工場野菜（もやし、菌茸、カット野菜）向け防曇フィルムは堅調



■ 飲料向け平板収縮フィルム



■ 複合ナイロンPFタイプ



■ 食品向けOPPフィルム

II-3. <機能ソリューション事業 2>

■ エンジニアリングプラスチック **半導体市場向けの牽引とOA機器向けの復調により好調に推移**

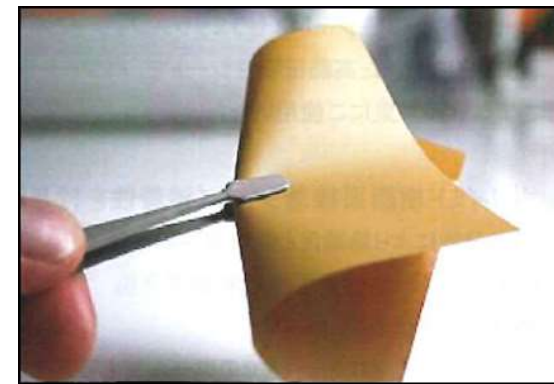
◆ 製品群	概況
OA向け機能商品	<ul style="list-style-type: none"> OA市場への高機能商品提案が実り安定化
非OA分野	<ul style="list-style-type: none"> 半導体市場向け製品の旺盛な需要で好調を持続



■ 半導体製造用フィルター資材



■ フッ素樹脂小口径収縮チューブ



■ 新開発製品
 ポリイミド樹脂系シート

Ⅱ-4. <機能ソリューション事業3>

■ 電子部品

工場再編・合理化等の構造改革と事業のダウンサイジング化

◆ 製品群	概況
機能フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 機能フィルム（OCA）の売上減が影響
タッチパネル	<ul style="list-style-type: none"> 抵抗膜方式からPCAP（静電容量）方式への移行 民生品から車載や文教用途等、BtoB向け提案推進
その他	<ul style="list-style-type: none"> 受託加工、ユニット品等の新規開拓案件の獲得



■ ウェットコーティングシステム



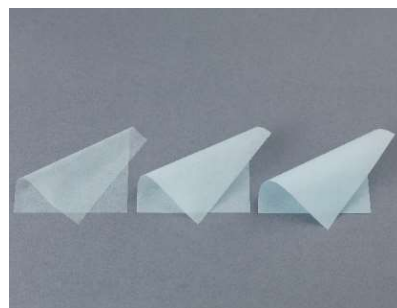
■ タッチパネル

Ⅱ-5. <機能ソリューション事業4>

■ メディカル

中国向け縫合補強材及び新商品「デュラウェーブ」が好調
販売体制強化費用等の増加、主力得意先の在庫調整の影響

◆ 製品群	概況
組織補強材	<ul style="list-style-type: none"> 中国向けは堅調も、国内販売体制構築に伴う在庫調整影の影響を受ける
骨接合材	<ul style="list-style-type: none"> 国内新規取引先の開拓により堅調
人工皮膚	<ul style="list-style-type: none"> 海外(アジア) 向けが伸長し堅調
人工硬膜	<ul style="list-style-type: none"> 新商品「デュラウェーブ」の上市により好調



■ 組織補強材ネオバールナノ



■ デュラウェーブ

国内初
無縫合タイプ
吸収性合成
人工硬膜

Ⅱ-6. <アパレル事業>

売上高 : 740億円 (前期比 3.3%増)
営業利益 : 26億円 (前期比 4.9%増)

■ インナーウェア



BODY WILD

■ レッグウェア



SABRINA (サブリーナ)

Ⅱ-7. <アパレル事業 1>

■ **インナーウェア** 「完全無縫製」「カットオフ」などの差異化商品やスポーツカテゴリー商品並びにEC・SPA等の成長チャネルの拡販により順調に推移

メンズ

- 18SS「YG」は、カットオフ
 新商品を投入し訴求強化
- スポーツカテゴリーが取扱店舗
 のシェア拡大により好調

レディース

- 「KIREILABO」完全無縫製
 ハーフトップ、ショーツ新商品
 好調
- 「Tuche」縫い目ゼロハーフ
 トップが引き続き好調



■ YG



■ KIREILABO (キレイラボ)

Ⅱ-8. <アパレル事業2>

■ レッグウェア

タイツや防寒商品等は健闘も
 年間物のストッキングとソックスが苦戦

- 18SS新商品「サブリナ」は、主力GMS、ドラッグでフェイス拡大
- 「ライザップ」中心に、ビューティ&ヘルス分野が好調



■ SABRINA (サブリナ)

■ フットカバー

Ⅱ-9. <ライフクリエイイト事業>

売上高 : 161億円 (前期比 6.3%増)
営業利益 : 13億円 (前期比 4.8%増)

■ 不動産関連



エルミこうのすショッピングモール
(埼玉県鴻巣市)

■ スポーツクラブ



吹田ミリカ店
(大阪府吹田市)

Ⅱ-10. <ライフクリエイイト事業 1>

■ 不動産関連

SC事業は地域に密着した運営により堅調に推移
賃貸事業は新規物件が貢献

● SC事業の現況

つかしん、鴻巣、前橋で運営するSC事業は堅調に推移
(つかしんは、過去最高の売上・集客を達成)

● 不動産賃貸事業の現況

新規物件 (西宮、綾部賃貸住宅)収入が貢献



■ つかしん (兵庫県尼崎市)



■ 夙川マンション (兵庫県西宮市)

Ⅱ-11. <ライフクリエイイト事業2>

■ スポーツクラブ

既存店の活性化やコストダウン対策等により
新店の初期費用影響を吸収

● スポーツクラブの営業状況

4月にオープンした新店（吹田ミリカ店、富山レガートスクエア店）
の初期費用影響を既存店の活性化とコスト圧縮でカバー



■ グンゼスポーツ 吹田ミリカ店
（大阪府吹田市）



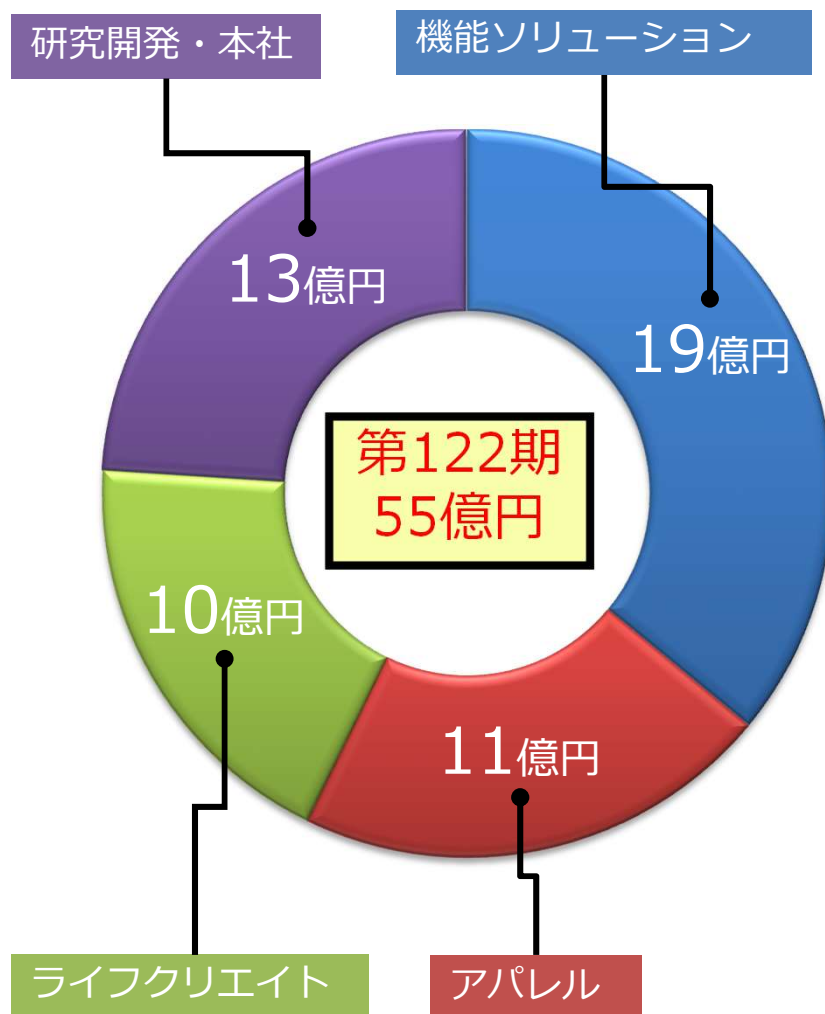
■ グンゼスポーツ 富山レガートスクエア店
（富山県富山市）

Ⅱ-12. 第122期(平成29年度)セグメント別の業績

(単位：億円 単位未満切捨て)

	売上高			営業利益		
	第122期 (H29年度)	第121期 (H28年度)	増減	第122期 (H29年度)	第122期 (H28年度)	増減
機能 ソリューション	508	501	6	53	34	19
アパレル	740	716	23	26	25	1
ライフ クリエイト	161	151	9	13	13	0
全社・消去	△4	△4	△0	△31	△30	△0
合計	1,405	1,365	39	62	42	20

Ⅱ-13. 設備投資の状況



機能ソリューション事業 (19億円)

- メディカル工場新築
- 高付加価値商品の生産能力強化 他

アパレル事業 (11億円)

- 生産設備増強
- 基幹システム構築 他

ライフクリエイイト事業 (10億円)

- 賃貸住宅新築
- 商業施設及びスポーツ施設の整備 他

研究開発・本社部門 (13億円)

- システム開発
- 研究開発用設備 他



Ⅲ. 計算書類（連結）

〔
貸借対照表
損益計算書
キャッシュ・フロー計算書
〕

お手許の招集ご通知**28頁から30頁**をご参照

Ⅲ-1. 貸借対照表（資産の部）

（単位：億円 単位未満切捨て）

科目	第122期 (H29年度)	第121期 (H28年度)	増減
流動資産	738	715	22
固定資産	974	978	△4
有形固定資産	648	672	△24
無形固定資産	18	19	△0
投資その他の資産	307	286	20
資産合計	1,712	1,694	18

流動資産

738億円（前期比 22億円増加）

受取手形及び売掛金	前期比	24億円
棚卸資産	前期比	△5億円

有形固定資産

648億円（前期比 24億円減少）

機械装置及び運搬具	前期比	△10億円
建物及び構築物	前期比	△9億円

投資その他の資産

307億円（前期比 20億円増加）

投資有価証券	前期比	33億円
繰延税金資産	前期比	△19億円

Ⅲ-2. 貸借対照表（負債の部、純資産の部）

（単位：億円 単位未満切捨て）

科目		第122期 (H29年度)	第121期 (H28年度)	増減
負債の部	流動負債	387	423	△35
	固定負債	203	187	15
	負債合計	591	611	△19
純資産の部	資本金	260	260	-
	資本剰余金	139	139	△0
	利益剰余金	797	775	22
	自己株式	△111	△91	△20
	その他の包括利益累計額等	35	△1	36
	純資産合計	1,121	1,083	37
負債及び純資産合計		1,712	1,694	18

負債合計

591億円（前期比 19億円減少）

為替予約 前期比 △12億円
未払法人税等 前期比 △9億円

純資産合計

1,121億円（前期比 37億円増加）

親会社株主に帰属する当期純利益 34億円
 その他有価証券評価差額金の増加 27億円
 自己株式の取得 △21億円
 配当金の支払(121期) △14億円

Ⅲ-3. 損益計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第122期 (H29年度)	第121期 (H28年度)	増減
売上高	1,405	1,365	39
売上総利益	399	375	24
販管費	337	332	4
営業利益	62	42	20
営業外損益	2	4	△2
経常利益	64	46	17
特別損益	△11	△13	1
税引前当期純利益	52	33	19
法人税等	16	17	△0
非支配株主に 帰属する 当期純損益	1	△15	16
親会社株主に帰属 する当期純利益	34	31	3

営業外損益

2億円 (前期比 2億円減益)

<当期の主な内訳>

受取配当金 4億円

為替差損 △2億円

<前期の主な内訳>

デリバティブ評価益 5億円

特別損益

△11億円 (前期比 1億円増益)

<当期の主な内訳>

減損損失 △5億円

固定資産処分損 △2億円

事業構造改善費用 △2億円

<前期の主な内訳>

固定資産売却益 22億円

減損損失 △23億円

固定資産除却損 △8億円

Ⅲ-4. キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第122期 (H29年度)	第121期 (H29年度)	増減
営業活動	90	138	△48
投資活動	△59	△78	18
FCF	30	59	△29
財務活動	△17	△41	△23

■ 主な営業CF

税金等調整前当期純利益	52
減価償却費	64
売上債権の増加 (期末休日影響額△11)	△24

■ 主な投資CF

固定資産の取得	△53
投資有価証券の取得	△12
固定資産の売却による収入	7

■ 主な財務CF

自己株式の取得	△20
配当金の支払	△13
借入金及びC Pの増加	18

Ⅲ-5. 主要財務・経営指標(連結)

	単位	第122期 (H29年度)	第121期 (H28年度)	増減
ROA：総資産営業利益率	%	3.7	2.5	1.2
ROE：自己資本当期純利益率	%	3.2	2.9	0.3
総資産	億円	1,712	1,694	18
自己資本	億円	1,114	1,081	29
自己資本比率	%	64.9	63.8	1.1
有利子負債額	億円	283	284	△0
BPS：1株当たり純資産	円	6,084	※ 5,784	299

ROA：営業利益 ÷ 総資産

ROE：当期純利益 ÷ 株主資本

※ 平成29年10月1日付で普通株式10株を1株に併合しております。

第121期の期首に併合されたと仮定し、1株あたり純資産を算定しております。



IV. 計算書類（単体）

〔 貸借対照表・損益計算書 〕

お手許の招集ご通知31頁から32頁をご参照



V. 中長期的なグループの 経営戦略と対処すべき課題

お手許の招集ご通知16頁から17頁をご参照

V-1. 中期経営計画「CAN 20」概要

中期経営計画 「CAN 20」(キャントゥエンティ)

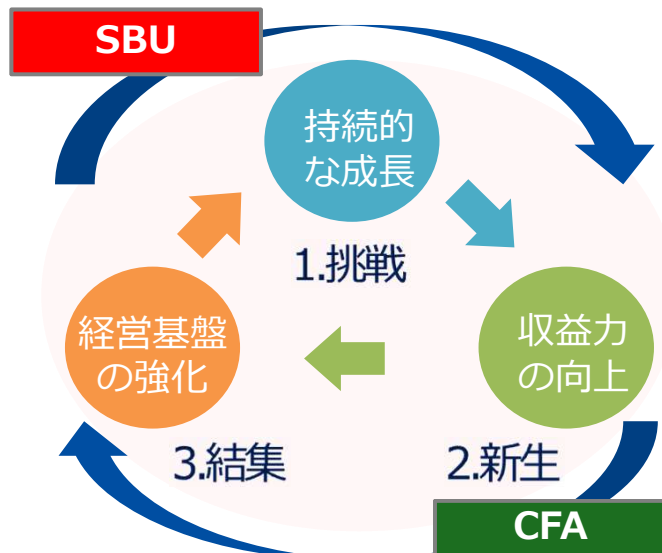
2014年度～2020年度の7カ年

第1フェーズ(2014年度～16年度)

第2フェーズ(2017年度～20年度)

⇒ 第2フェーズ 2年目

- ・ SBU分類評価による「選択と集中」の推進
- ・ CFAによる効率的な新規事業の創出・育成、QOL(クオリティ オブ ライフ)分野の事業拡大



SBU

戦略的ビジネスユニット

事業計画を戦略的に立案・遂行することを目的とした組織単位

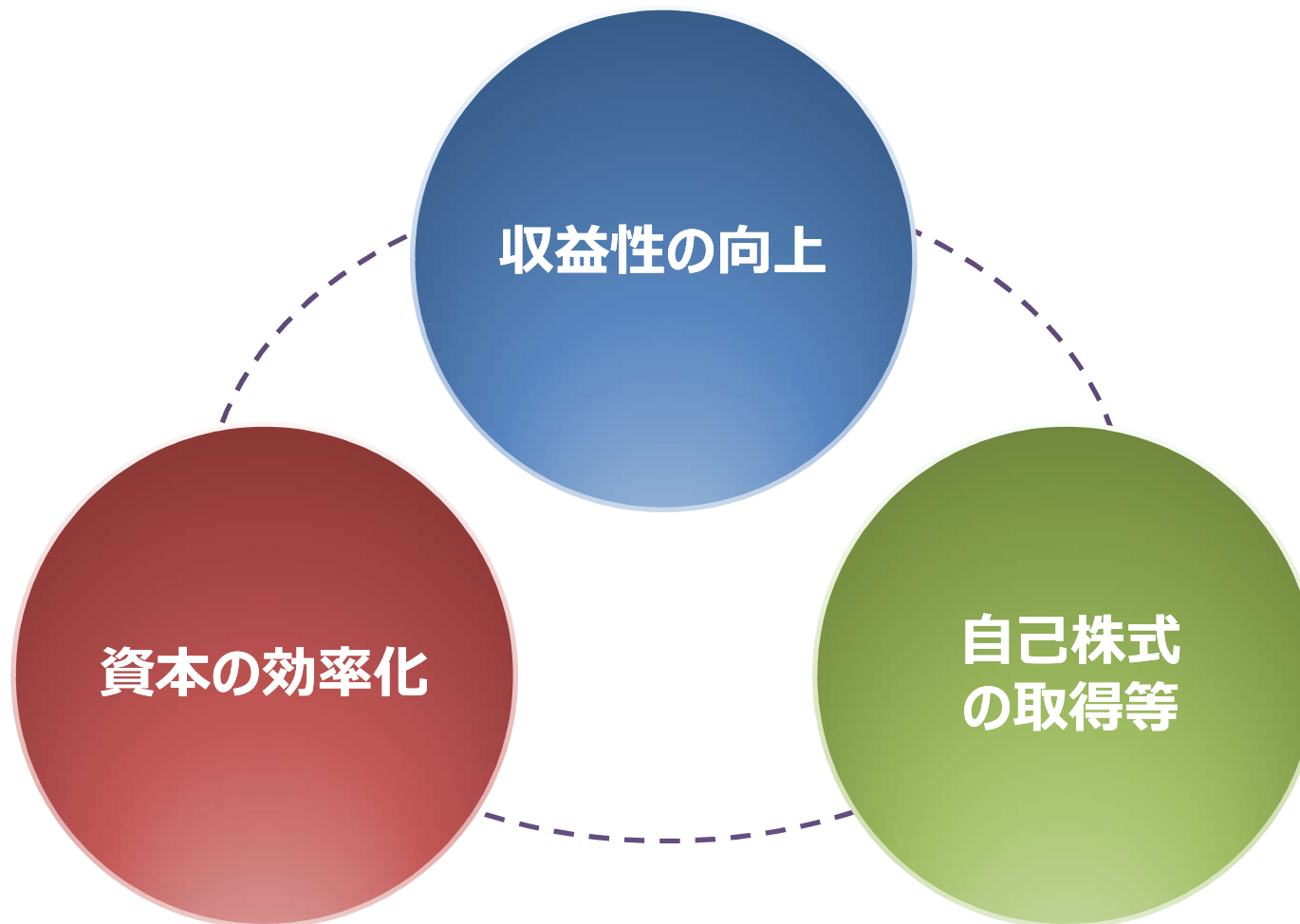
CFA

クロスファンクショナルアプローチ

部門ごとに存在する知識や手法などを横断的に流通させ、組織全体の機能を強化する活動

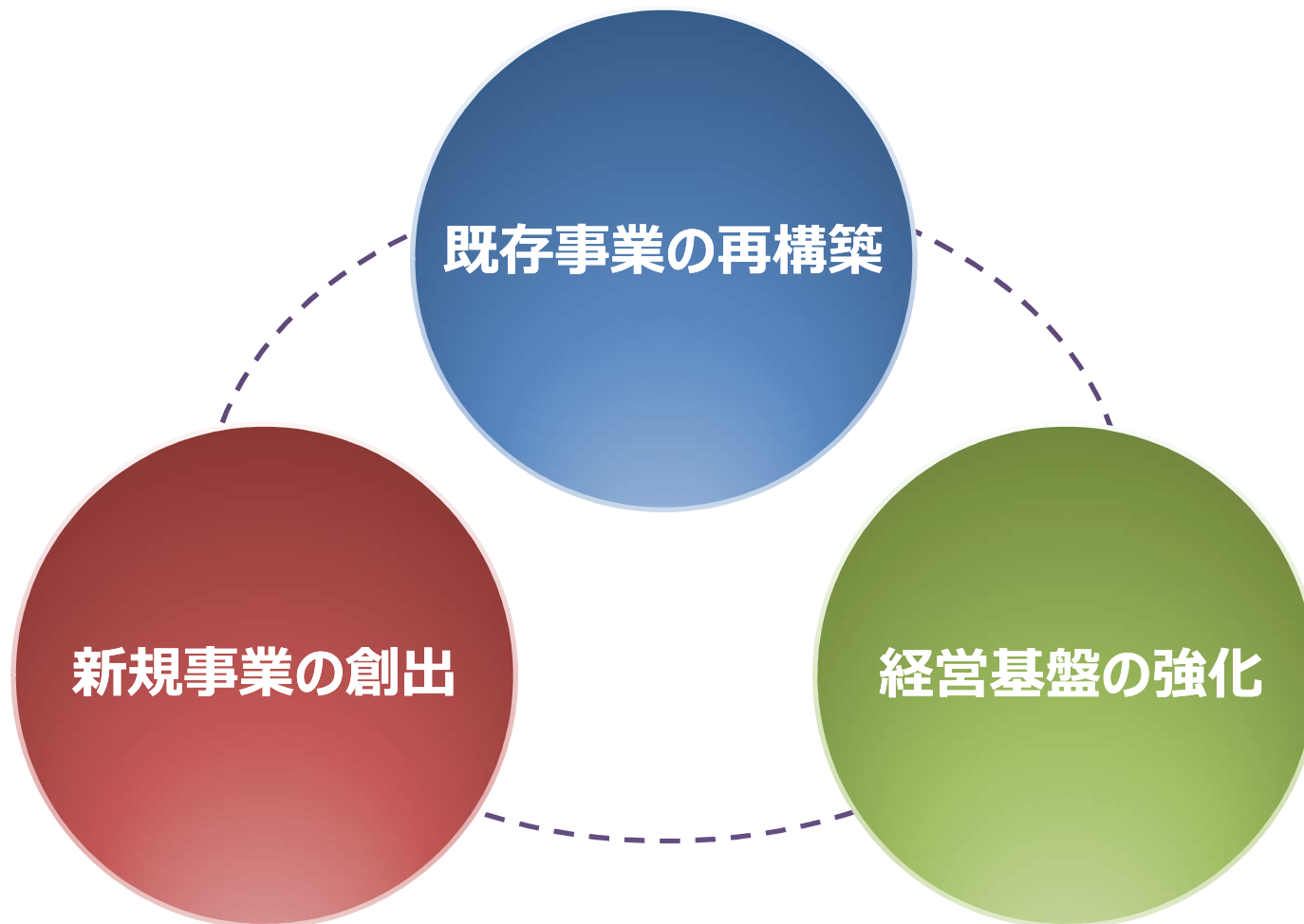
V-2. 株主さま重視のグループ重点指標

ROE（自己資本当期純利益率）の向上



V-3. 「CAN20」第2フェーズ 基本戦略

3つの基本戦略を加速



V-4. 2018年度経営基本方針

成長拡大

既存事業の深掘りと
ストレッチプランの実行

生産革新

「NExT運動」の継続推進

活

「活気ある会社に変革しよう」

働き方改革

皆が活躍できる会社へ

人財育成

次世代への投資

V-5. 2018年度セグメント別重点実施事項

機能ソリューション事業 1

■ プラスチックフィルム

業績拡大のなか、新市場・新商品の開発とグローバル生産体制を更に強化

■ エンジニアリングプラスチック

主力O A市場向け商品及び半導体関連等繊維技術活用製品の拡大



■ 平板収縮フィルム

■ フッ素樹脂 小口径収縮チューブ



V-6. 2018年度セグメント別重点実施事項

機能ソリューション事業2

■ 電子部品

社内のフィルム事業分野とのシナジー効果を追求し事業採算化

■ メディカル

更なる成長に向け国内新販売体制をスタート
グローバルな事業運営体制の充実拡大



■ グンゼメディカルジャパン
(販売会社設立)

■ 人工真皮



V-7. 2018年度セグメント別重点実施事項

アパレル事業

■ インナーウェア

オリジナル差異化技術を強みに主カブランドの更なる拡販
成長チャネルである直販ルートと海外販売を強化

■ レッグウェア

市場トレンドと消費者潜在ニーズを先取りした新市場・新商品の開発



■ GUNZE the shop
ららぽーと和泉店
(大阪府和泉市)

V-8. 2018年度セグメント別重点実施事項

ライフクリエイイト事業

■ 不動産関連

新規賃貸事業の推進及び商業施設運営体制の見直しによる収益力の向上

■ スポーツクラブ

海外を含む多店舗展開による売上拡大と効率運営



■ あやべグンゼタウンセンター
(京都府綾部市)

■ ビエラ岸辺健都
(グンゼスポーツ吹田健都店
入居予定：大阪府吹田市)



V-9. 2019年3月期（第123期）連結業績予想

（単位：億円 単位未満切捨て）

項目	2019年3月期 (123期) 連結		2018年3月期 (122期) 連結		対前年	
	業績予想	利益率 (%)	実績	利益率 (%)	増減	増減率 (%)
売上高	1,450		1,405		44	3.2
営業利益	70	4.8	62	4.4	7	12.2
経常利益	70	4.8	64	4.6	13	8.6
親会社株主に 帰属する 当期純利益	40	2.8	34	2.5	5	14.7

**第123期（2019年3月期）配当は、当期より10円増配し、
1株当たり100円を予定しております。**



■ 第122期定時株主総会

「決議事項」

お手許の招集ご通知4頁から12頁をご参照

■ 第1号議案 (招集ご通知4頁)

剰余金の処分の件

剰余金の処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

<期末配当に関する事項>

連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、下記の通りとさせていただきます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金90円 総額1,654,082,370円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成30年6月27日

■ 第2号議案 (招集ご通知5~11頁)

取締役11名選任の件

【取締役候補者】

候補者番号	候補者氏名	候補者番号	候補者氏名
1	廣地 厚	7	高尾 茂樹
2	佐口 敏康	8	阿武 克也
3	白井 文	9	及川 克彦
4	赤瀬 康宏	10	熊田 誠
5	岡 修也	11	中井 洋恵
6	木村 克彦		

(注) 白井 文、中井 洋恵の両氏は、社外取締役の候補者です。

■ 第3号議案 (招集ご通知12頁)

補欠監査役1名選任の件

【補欠監査役候補者】

候補者氏名

三木 秀夫